

TIME & ECOLOGY
AMANO[®]



第93期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

証券コード 6436

 **アマノ株式会社**

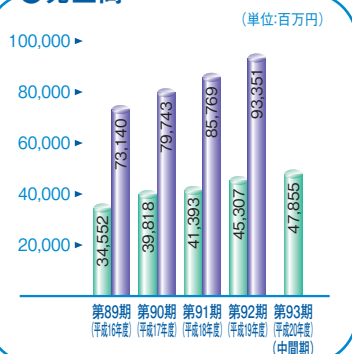
● 目 次 ●

財務ハイライト (連結) ——— 1
 株主の皆様へ ——— 2
 事業概況 ——— 3
 TOPICS ——— 7
 連結財務諸表 ——— 11
 主要指標の推移 ——— 13
 会社概要、株式の状況 ——— 14
 AMANOネットワーク ——— 15
 株主メモ ——— 17

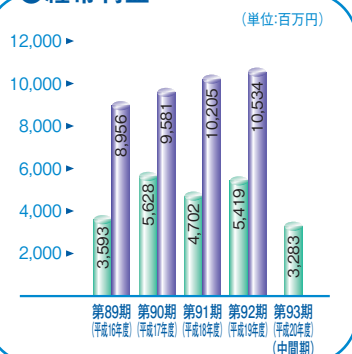
財務ハイライト (連結)

中間期 ■■■ 通期 ■■■■

●売上高



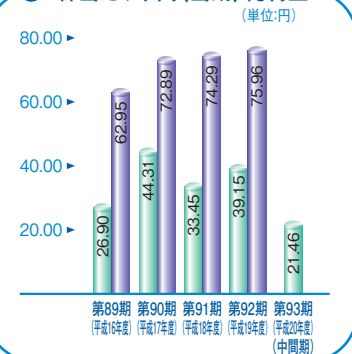
●経常利益



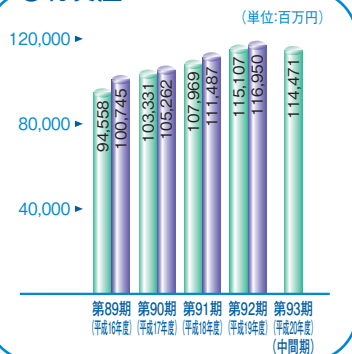
●中間(当期)純利益



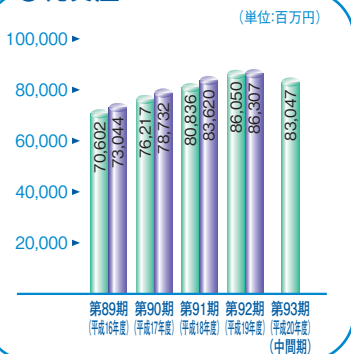
●1株当たり中間(当期)純利益



●総資産



●純資産



(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに「第93期中間報告書」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は、創業以来、「人と時間」、「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足度におき、全社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値+将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

当社は、平成20年4月から連結成長戦略のもと、持続成長と収益性向上を実現すべく新中期経営計画（3ヵ年）をスタートさせました。この計画実現に向け、当社および国内外のグループ各社は連携を一層強化し、各事業における市場・プロダクトのグローバル展開をはかり、新規事業を推進するとともに総合提案ビジネスの拡大に注力しております。

当中間期の連結業績につきましては、売上高については北米や欧州での買収効果もあり増収となりましたが、利益については国内における設備投資抑制の影響が大きく減益となりました。

中間配当金につきましては、配当の基本方針に基づき、株主の皆様のご支援にお応えするため、当初予定通り1株当たり17円とさせていただきます。

下期の経営環境につきましては、世界的な金融市場の混乱が実体経済に影響を及ぼし、欧米経済の減速感が強まる中、わが国においても景気後退観測が更に高まりつつあります。

このような厳しい経営環境の中で、当社およびグループ各社は、新中期経営計画の目標達成に向け経営計画を着実に実行し、企業価値向上のため、全社一丸となってチャレンジしてまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月



代表取締役社長 春田 薫

事業概況

●当中間期連結業績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速が次第に明らかになり、原材料・食料等の価格が高騰する中、企業の設備投資や個人消費が低迷し、輸出も鈍化したことから景気の後退感が強まっています。

このような経営環境下、当社は平成20年4月からスタートした新中期経営計画に基づき、連結成長戦略のもと、各事業における市場・プロダクトのグローバル展開による持続成長、新事業推進や国内グループ各社との連携に基づく総合提案ビジネス拡大による収益性向上の実現に向けて、全社一丸となって取り組んでまいりました。

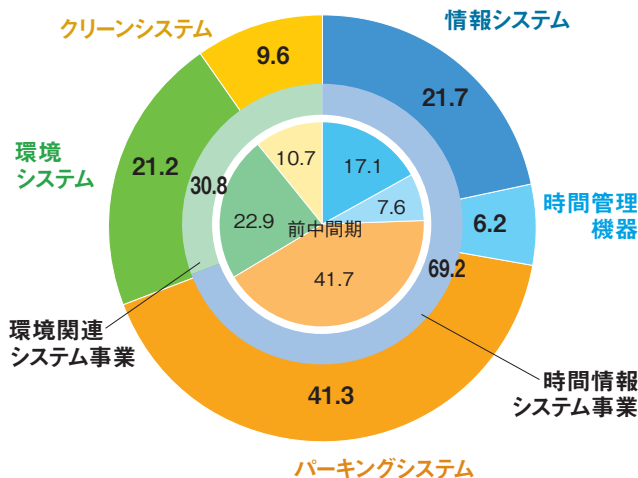
当中間期の業績は、事業部門別では情報システム及びパーキングシステムは増収となりましたが、時間管理機器、環境システム及びクリーンシステムは減収となり、売上高は478億55百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

利益については、営業利益は30億60百万円（同39.0%減）、経常利益は32億83百万円（同39.4%減）、純利益は17億20百万円（同45.3%減）となりました。

部門別販売の概況は、以下のとおりであります。

《事業部門別売上構成比率》

(単位：%)



情報システム

就業・給与・人事・入室・食堂管理システム

当事業部門は、国内では「適正な労働時間の管理」に対する厚生労働省の通達や指導強化が続く中、就業システムの見直し・再構築のための需要は続いております。また、就業システムと連動したドアセキュリティ（入室管理）システムの需要は、オフィスビル中心から工場などへも広がりを見せております。一方、受注面では景気減速が鮮明になるにつれ、顧客の投資への慎重な姿勢が見られるようになり、事業環境は先行き不透明感が増してきました。

当社はこのような市場環境に対応し、就業管理ソフトウェアの機能強化、新入室システムの市場投入、ICカードによる統合型システム提案強化、中小規模市場に向けた営業戦略強化など事業拡大に注力してまいりました。

当中間期の実績は、前年同期に比べハードウェアは1億64百万円減収（4.9%減）、ソフトウェアは13百万円増収（0.7%増）、メンテ・サプライは99百万円増収（6.6%増）となりました。ハードウェアの減収は大型ソリューション物件の受注減少、メンテ・サプライの増収は、ICカードおよび保守契約が増加したことによります。分野別には、就業システムは35百万円増収（0.7%増）、入室システムは34百万円減収（4.8%減）となりました。

海外の実績は、欧州は2008年1月に買収したHorosmart社が堅調に実績を伸ばしたことが寄与し増収、北米は減収、アジアは横ばいで、全体では26億36百万円増収（前年同期比386.7%増）となりました。

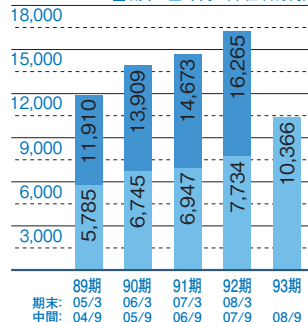
以上の結果、当事業部門の売上高は103億66百万円（前年同期比34.0%増）となりました。



時間管理・人材管理・危機管理システム支援 [TimeAsset]

●売上高の推移(連結)

■ 期末 ■ 中間 (単位:百万円)



時間情報システム事業

時間管理機器

タイムレコーダー・タイムスタンプ

当事業部門は、国内ではタイムレコーダー市場が低価格機中心の市場へと移行していく中、販売形態が店頭販売からインターネット上での販売へと変化し、より一層低価格機へのシフトが強まっており、需要回復の兆しが見えないまま低調に推移しました。

当中間期の実績は、前年同期に比べ国内・輸出は売上・台数ともに減少し3億96百万円減収（16.8%減）となりました。

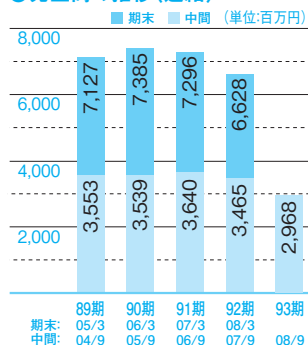
海外の実績は、北米は低調が続き減収、欧州は微増、アジアは微減となり、全体では1億95百万円減収（前年同期比12.9%減）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は29億68百万円（前年同期比14.3%減）となりました。



小規模事業所向け
時間集計タイムレコーダーMRS-500

●売上高の推移(連結)



パーキングシステム

駐車場・駐輪場管理機器・マネジメントサービス

当事業部門は、国内では駐車場市場の成熟化が進む中、ガソリン価格高騰の影響を受け駐車場の稼働率が低下したことにより、小規模駐車場の新設需要の減少、更新時期の延期など事業環境は厳しい状況が続いております。一方、新たな市場として期待される専用ゲートシステム市場で、高速道路のETC専用レーンの安全対策用遮断機として導入が進められているゲートシステムは、首都高速道路をはじめとして各地域に拡大しております。また、ゲートシステムに電波を利用した認証技術（RFID）を取り入れた「特定車両管理システム」が大学構内の車両管理や駅構内タクシーの入構管理用として導入され、今後、新市場としての需要が見込まれます。当社はこのような市場環境の中、ハードウェアに新たな技術を取り入れた新システムの開発、更新市場への戦略強化、駐輪場ビジネスの拡大、専用ゲートシステム市場の開拓など事業拡大に注力してまいりました。

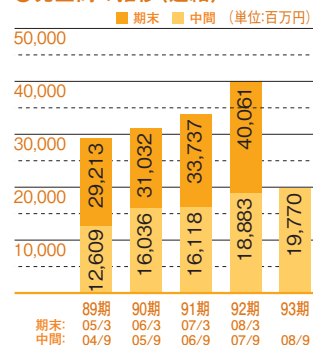
当中間期の実績は、前年同期に比べシステム機器は10億78百万円減収（12.7%減）、メンテ・サプライは2億85百万円増収（7.2%増）となりました。なお、グループ会社 アmanoマネジメントサービス株式会社による駐車場管理受託事業の車室数は2008年3月末に比べ17,650台増加（13.7%増）し、着実に実績を伸ばしております。

海外の実績は、北米はMcGann社（現AMI社）の買収効果が寄与し増収、欧州はスペイン市場での特需が一巡し減収、アジアは韓国が現地通貨ベースでは二桁増収と引き続き好調に推移したものの、為替レートの変動により円ベースでは減収となりましたが、海外全体では11億66百万円増収（前年同期比22.9%増）となりました。以上の結果、当事業部門の売上高は197億70百万円（前年同期比4.7%増）となりました。



北米グループ企業
Amano McGann Inc.

●売上高の推移(連結)



環境関連システム事業

環境システム

汎用集塵機・大型集塵装置・粉粒体空気輸送システム・
高温有害ガス除去システム・脱臭システム・電解水生成装置

当事業部門は、国内製造業の設備投資減速の影響を受け、当中間期の実績は前年同期に比べ汎用機・大型システムとも減収となりましたが、大型システムの受注は概ね堅調に推移しました。

部門別には、汎用機は1億16百万円減収（3.3%減）、大型システムは第2四半期に入り売上は回復したものの第1四半期の落ち込みをカバーすることができず、1億11百万円減収（2.9%減）となりました。メンテ・サプライは、環境経営に対する法令遵守を背景として保守メンテが増加し、35百万円増収（1.7%増）となりました。

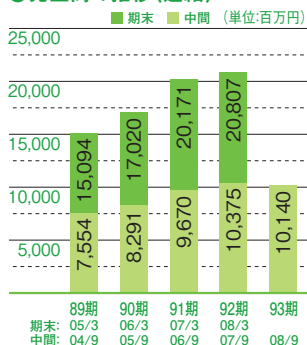
海外の実績は、タイ、インドネシアを中心とした日系企業からの大型システムの受注が好調に推移し、91百万円増収（前年同期比15.8%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は101億40百万円（前年同期比2.3%減）となりました。



大型集塵システム（WRT）設置例

●売上高の推移（連結）



クリーンシステム

清掃機器・ドライケア清掃システム・マネジメントサービス

当事業部門は、国内は大手コンビニエンスストアの床材変更によるバフイング機の減少が続く中、床材変更に対応する洗浄機の市場投入やファクトリー市場の開拓など需要回復に注力してまいりました。

当中間期の実績は、前年同期に比べ清掃機器はバフイング機の減少に加え、工場向け洗浄機が設備投資抑制の影響を受けたことにより1億61百万円減収（10.8%減）、メンテ・サプライは19百万円増収（2.2%増）となりました。

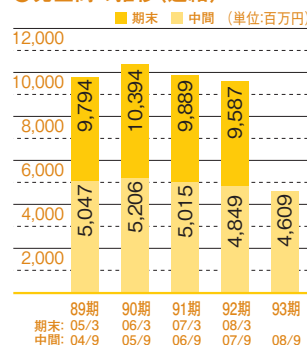
海外の実績は、北米は低調が続き減収、アジア地域も減収となり、全体では2億54百万円減収（前年同期比17.8%減）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は46億9百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

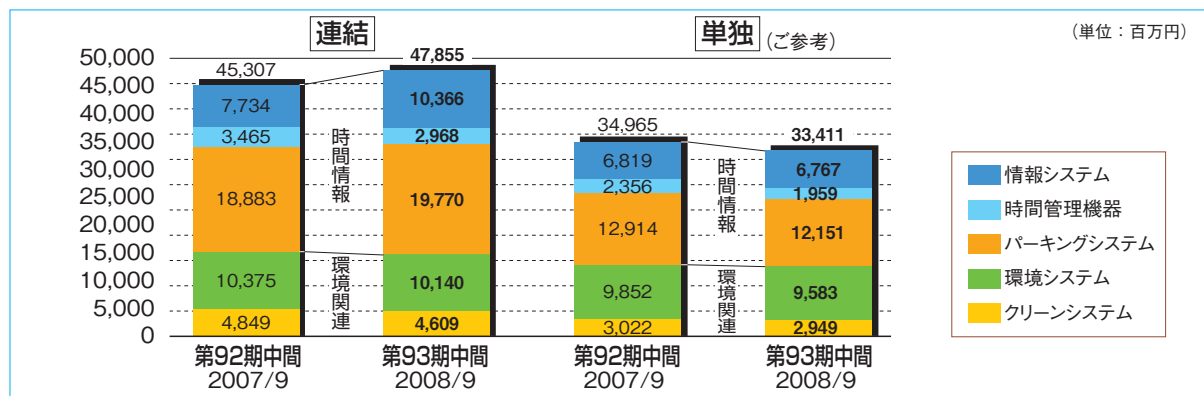


工場用自動床面洗浄機 SE-500GN

●売上高の推移（連結）



●部門別販売の状況



区 分	第92期中間期 2007年(平成19年)9月期		第93期中間期 2008年(平成20年)9月期		増 減			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	比 率 (%)		
時間情報システム事業	情報システム	連結	7,734	17.1	10,366	21.7	2,632	34.0
		単独	6,819	19.5	6,767	20.2	△51	△0.8
	時間管理機器	連結	3,465	7.6	2,968	6.2	△497	△14.3
		単独	2,356	6.8	1,959	5.9	△396	△16.8
	パーキングシステム	連結	18,883	41.7	19,770	41.3	887	4.7
		単独	12,914	36.9	12,151	36.4	△763	△5.9
小 計	連結	30,082	66.4	33,105	69.2	3,022	10.0	
単独	22,090	63.2	20,878	62.5	△1,211	△5.5		
環境関連システム事業	環境システム	連結	10,375	22.9	10,140	21.2	△234	△2.3
		単独	9,852	28.2	9,583	28.7	△269	△2.7
	クリーンシステム	連結	4,849	10.7	4,609	9.6	△240	△5.0
		単独	3,022	8.6	2,949	8.8	△73	△2.4
	小 計	連結	15,225	33.6	14,749	30.8	△475	△3.1
		単独	12,875	36.8	12,532	37.5	△342	△2.7
合 計	連結	45,307	100.0	47,855	100.0	2,547	5.6	
	単独	34,965	100.0	33,411	100.0	△1,554	△4.4	
内 輸出売上高	単独	1,874	5.4	1,443	4.3	△431	△23.0	

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業別活動報告

情報システム事業

『ATS Forum 2008』“労務管理を考える一日”
全国6都市で開催

時間情報事業本部が主催する今年の『AMANO Advanced Time Solutions Forum 2008』（通称：ATSフォーラム）は、“労務管理を考える一日”と題して6月10日の大阪会場を皮切りに、名古屋（6/13）・東京（6/17-18）・静岡（7/8）・福岡（7/11）・仙台（7/15）と全国6都市の会場で開催されました。「人と時間をどう活かすのか」「情報資産をどう守るのか」など、人材管理・情報の有効活用・情報セキュリティ強化のための具体的な提案の数々をセミナーとソリューション展示会で紹介。当日は、新発売の就業情報ターミナル「AGX350シリーズ」や入室情報システムの最新シリーズ「TimePro-XG入室」も展示し、各地区会場とも多数の来場者に労務管理や入室セキュリティに関わる様々な課題解決のための提案（アマノのタイムソリューション）を体感していただきました。



セミナー会場風景



展示会場でのプレゼンテーション

ICカード社員証の需要拡大
就業情報ターミナルの受注増加

自治体、鉄道会社、大手メーカー、大手スーパー・流通業、不動産・賃貸サービス業など、情報ネットワークを活用する業界において、労働時間の適正管理や勤怠業務の集計作業効率化を図るために、就業情報専用機としてアマノの就業情報ターミナルを採用する企業が増えています。就業情報ターミナルに使用する入力媒体は、社員証や身分証明証として急速に普及しているICカード。また、お客様の多様なネットワーク環境にも柔軟に対応できる就業情報ターミナルは、業種を問わず様々な管理形態に応じたシステムが構築できるため、お客様独自のカスタマイズを提供することが可能となり、システム導入後も高い評価をいただいています。そのひとつ「AGX350シリーズ」は、2008年2月に新発売した大型タッチパネル式カラー液晶搭載機で、目の不自由な方のための点字キーボードなどを備えた、人と環境に配慮した高機能モデルです。

就業情報ターミナル
AGX200 ICカードモデル就業情報ターミナル
AGX350 ICカードモデル

パーキングシステム事業

駐車場にも決済手段の多様化・ キャッシュレス化の波

キャッシュレス化の動きが広がる中、駐車場でも多様な電子マネーでの決済に対応できる自動料金精算機の採用が急速に進んでいます。現在、会員数が最も多いといわれる「Edy」、首都圏中心に拡大を続ける「Suica」や私鉄・バス共通IC乗車券「PASMO」、関西地区中心の「ICOCA」、イオンが運営する「WAON」、ポストペイ（後払い）方式IC決済サービス「ID」や「PiTaPa」など、各種ICカードや電子マネーによる決済が急増しています。この動向に合わせ、全国各地の駅前や空港・ショッピングセンター等の駐車場では、これらの電子マネー専用カードリーダーを搭載したアマノの自動料金精算機が設置され、お客様の利便性に一役買っています。

- * Edy（エディ）：ビットワレット㈱が管理するプリペイド型（前払い式）の電子マネーサービスです。
- * Suica（スイカ）：東日本旅客鉄道㈱が運営・発行するプリペイド式乗車カード・電子マネーサービスです。
- * PASMO（パスモ）：㈱パスモが運営・発行する鉄道・バス共通の非接触ICカード乗車券サービスです。
- * ICOCA（イコカ）：西日本旅客鉄道㈱が運営・発行するプリペイド式乗車カード・電子マネーサービスです。
- * WAON（ワオン）：イオン㈱が運営・推進するプリペイド式電子マネーサービスです。
- * ID（アイディ）：㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモが運営・推進するポストペイ式（後払い式）電子マネーサービスです。
- * PiTaPa（ピタパ）：㈱スルッと関西が運営・推進するポストペイ式電子マネーサービスです。



電子マネー対応駐車場システム



自動料金精算機NT-7700

事業所・工場向け《セキュリティシステム》 総合提案で需要拡大

「RFID」(*1)で認証した特定車両の入出場管理が自動化できる『RFID駐車場システム』の需要が増えています。守衛所・通用門にカーゲートとRFIDアンテナを設置し、事前登録された車両がカーゲートに近付くと、“車両に固定された”または“運転者がかざす”ICタグを自動的に読み取り、登録車両認証後にゲートを開閉するという『車両ゲートシステム』です。車両の入出場規制だけでなく、管理用パソコンで入出場車両の履歴や台数を管理することができます。事業所内では、一枚の社員証で出勤管理、機密資料や危険物等の倉庫への部外者の侵入を防止するドアセキュリティ、工作機械・フォークリフト等有資格者への鍵の貸出管理、社員食堂での飲食精算まで、施設セキュリティと社員情報管理がアマノの統合システムによって一元管理できます。この情報システムとパーキングシステムによる『アマノトータルセキュリティプラン』の提案で新たな市場が拡大しています。

(*1) RFID：Radio Frequency IDentificationの略で、電波を利用した認証・認識技術の総称。



工場入退門管理／車両ゲートシステム



RFID駐車場管理システム

事業別活動報告

環境システム事業

アジア地域の需要拡大に対応し
大型集塵機受注 堅調

米国金融危機に端を発した世界経済減速の影響はあるものの、部品製造で多くの鋳造品を生産する建設機械メーカーや電池メーカー各社は、中国をはじめアジア各国での需要拡大に対応して、海外に向けた生産体制の強化や現地販売網の整備など、設備投資を積極的に行っています。また、品質向上、環境負荷低減およびコンプライアンスを目的として集塵装置の導入を積極的に進めており、ユーザーニーズにマッチしたアmanoの大型集塵システムが活躍しています。本年度も大手建設機械メーカーより過去最大規模の集塵システムを受注し、来年度の稼働に向けて生産体制を強化しています。



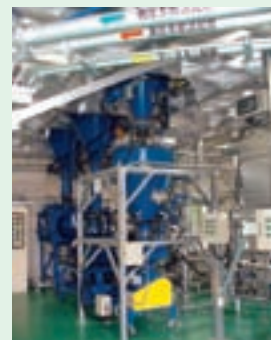
WRT大型集塵機設置例

タイヤ原材料（カーボンブラック）輸送に
アmano空気輸送システムが活躍

タイヤの生産量は2001年以降右肩上がりに増加しており、乗用車用タイヤは新車販売低迷の影響で今年に入って落ち込んだものの、トラック・バス用および建設車両用のタイヤは、特に中国で道路網の拡大などインフラ整備を積極的に進めているため、これまで以上に需要が増大しています。タイヤメーカー各社は中国での生産増強のため、新工場建設や既設設備増強、老朽設備の更新を活発に行っています。このタイヤ原材料であるカーボンブラック輸送には特殊技術が必要とされますが、新工場の建設等に伴い、精練工程のカーボン及びシリカを自動搬送する設備として、アmanoの空気輸送システムが利用され、需要が拡大しています。この傾向は今後も継続する見通しで、エンジニアリング体制の強化とグローバルな市場拡大を図っていきます。



粉粒体空気輸送システム設置例

プラント設計のための搬送テストと
解析を行う粉粒体輸送テストプラント
(細江事業所内)

クリーンシステム事業

“日本一きれいな駅”を目指して… アマノの自動床面洗浄機と電解水生成装置を最適活用 《東京急行電鉄株式会社様》

東京急行電鉄株式会社様が運営する東急線では、清掃専門スタッフが、“日本一きれいな駅”を目指して日夜、清掃方法等工夫をこらして作業を行っています。駅ホーム、コンコースの清掃には、洗浄水を床に発水して回転ブラシで磨き、発生する汚水を吸い上げながら床面を洗浄するアマノ「自動床面洗浄機」を採用し効率を上げています。また、エレベーター・エスカレーター・階段は“埃がたない清掃”を常に心掛けて、ゴミ拾い、掃き拭き清掃を行っています。この清掃にはアマノの電解水が利用されています。水道水に微量の食塩を加えて電気分解することにより生成される2種類の電解水（アルカリ水、酸性水）には、洗浄効果や殺菌・消臭効果があり、電解水の利用により洗剤使用量を大幅に削減した“エコ清掃”を実現しています。東急線各駅には、電解水をつくることのできるアマノ「電解水生成装置」が設置され、活躍しています。



自動床面洗浄機による
駅コンコースの洗浄作業



電解水の生成

グループ企業近況

『埼玉クリーンメンテナンスセンター』が 新サポート体制で活動を再開 《アマノメンテナンスエンジニアリング株式会社》

アマノクリーンシステムのアフターサービスを行っている『川口メンテナンスセンター』が、埼玉県川口市から同北足立郡伊奈町に拠点を移し、業務内容を拡充して2008年8月に新たに『埼玉クリーンメンテナンスセンター』としてオープンしました。主に東日本エリアの工場清掃を中心に、お客様へのアフターサービス向上にアマノ各支店と協働で新たなサポート体制を構築していきます。業務内容は、次の通りです。

- ①アマノクリーンシステム商品の修理・オーバーホール
- ②専門スタッフによる清掃商品（搭乗式自動床面洗浄機他）デモンストラーション実施
- ③小型清掃機器の貸出し（デモ用）、および貸与機返却後の点検・整備

なお、西日本エリアは昨年9月に細江事業所（静岡県浜松市）内にオープンした『細江クリーンメンテナンスセンター』が担当。従来にも増して、お客様に充実したトータルサービスを提供しています。



埼玉クリーンメンテナンスセンター



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	第 92期	第 93期
	(前中間連結会計期間末) (平成19年9月30日現在)	(当中間連結会計期間末) (平成20年9月30日現在)
流動資産	66,331	59,097
現金及び預金	27,527	21,029
受取手形及び売掛金	25,326	25,296
有価証券	500	1,252
たな卸資産	9,254	8,225
繰延税金資産	1,247	1,618
その他	2,598	1,887
貸倒引当金	△ 123	△ 211
固定資産	48,776	55,373
有形固定資産	23,204	22,338
建物及び構築物	12,141	11,512
機械装置及び運搬具	2,159	1,634
工具器具及び備品	2,183	1,547
土地	6,573	7,203
建設仮勘定	145	441
無形固定資産	10,606	16,656
のれん	5,728	9,792
ソフトウェア	3,441	5,045
ソフトウェア仮勘定	1,378	1,047
その他	58	769
投資その他の資産	14,965	16,378
投資有価証券	6,921	7,207
長期貸付金	538	266
破産更生債権等	522	502
差入保証金	1,046	1,079
繰延税金資産	2,083	2,420
長期預金	1,500	2,306
その他	2,836	3,006
貸倒引当金	△ 482	△ 410
資産合計	115,107	114,471

負債の部	第 92期	第 93期
	(前中間連結会計期間末) (平成19年9月30日現在)	(当中間連結会計期間末) (平成20年9月30日現在)
流動負債	22,948	24,462
支払手形及び買掛金	11,462	10,795
短期借入金	457	81
未払法人税等	2,141	1,824
賞与引当金	1,917	1,946
役員賞与引当金	22	23
その他	6,947	9,790
固定負債	6,108	6,961
長期借入金	1,004	72
繰延税金負債	63	476
退職給付引当金	4,287	4,482
役員退職慰労引当金	678	—
長期末払金	—	1,467
その他	73	462
負債合計	29,056	31,424
純資産の部		
株主資本	84,705	83,990
資本金	18,239	18,239
資本剰余金	19,556	19,567
利益剰余金	47,640	47,899
自己株式	△ 730	△ 1,715
評価・換算差額等	651	△ 1,827
その他有価証券評価差額金	384	△ 37
為替換算調整勘定	266	△ 1,790
少数株主持分	693	884
純資産合計	86,050	83,047
負債純資産合計	115,107	114,471

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

前中間連結会計期間末 (平成19年9月30日現在)	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)
30,684 ^{百万円}	31,861 ^{百万円}

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	第92期 (前中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	第93期 (当中間連結会計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
売上高	45,307	47,855
売上原価	25,720	26,629
売上総利益	19,587	21,225
販売費及び一般管理費	14,566	18,165
営業利益	5,020	3,060
営業外収益	574	503
受取利息及び配当金	193	213
その他	380	290
営業外費用	175	280
支払利息	33	16
その他	142	263
経常利益	5,419	3,283
特別利益	12	22
固定資産売却益	11	8
投資有価証券売却益	—	12
その他	1	1
特別損失	153	26
固定資産除却損	148	10
固定資産売却損	—	9
その他	5	7
税金等調整前中間純利益	5,278	3,279
法人税、住民税及び事業税	2,052	1,464
少数株主利益	79	95
中間純利益	3,145	1,720

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 税効果会計の適用に当たり「簡便法」を採用しておりますので、法人税、住民税及び事業税は法人税等調整額を含めた金額で一括掲記しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	第92期 (前中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	第93期 (当中間連結会計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	4,864	6,754
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 10,257	△ 2,458
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,037	△ 2,333
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 93	213
現金及び現金同等物の 増加額（及び減少額（△））	△ 6,524	2,176
現金及び現金同等物の 期首残高	30,690	17,192
連結子会社と非連結子会社との合併による 現金及び現金同等物の増加額	—	6
現金及び現金同等物の 中間期末残高	24,165	19,374

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。	前中間連結会計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	当中間連結会計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
2. 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金勘定 預入期間が3ヶ月を 超える定期預金 現金及び現金同等物	27,527 百万円 △3,361 24,165
	21,029 百万円 △1,654 19,374	

●連結決算

(単位：百万円)

	第89期		第90期		第91期		第92期		第93期
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期
	平成16年4月1日～ 平成16年9月30日	平成16年4月1日～ 平成17年3月31日	平成17年4月1日～ 平成17年9月30日	平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	平成18年4月1日～ 平成18年9月30日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日	平成20年4月1日～ 平成20年9月30日
売上高	34,552	73,140	39,818	79,743	41,393	85,769	45,307	93,351	47,855
営業利益	3,556	9,074	5,528	9,537	4,699	10,143	5,020	10,011	3,060
経常利益	3,593	8,956	5,628	9,581	4,702	10,205	5,419	10,534	3,283
中間(当期)純利益	2,144	5,108	3,536	5,915	2,682	5,961	3,145	6,104	1,720
1株当たり中間(当期)純利益	26円90銭	62円95銭	44円31銭	72円89銭	33円45銭	74円29銭	39円15銭	75円96銭	21円46銭
潜在株式調整後 1株当たり中間(当期)純利益	—	62円95銭	44円29銭	72円76銭	33円43銭	74円24銭	39円14銭	75円94銭	21円46銭
配当性向	—	—	—	—	—	40.4%	—	44.8%	—
総資産	94,558	100,745	103,331	105,262	107,969	111,487	115,107	116,950	114,471
純資産	70,602	73,044	76,217	78,732	80,836	83,620	86,050	86,307	83,047

(注) 第91期より連結は少数株主持分を含めています。

●単独決算 (ご参考)

(単位：百万円)

	第89期		第90期		第91期		第92期		第93期
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期
	平成16年4月1日～ 平成16年9月30日	平成16年4月1日～ 平成17年3月31日	平成17年4月1日～ 平成17年9月30日	平成17年4月1日～ 平成18年3月31日	平成18年4月1日～ 平成18年9月30日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日	平成20年4月1日～ 平成20年9月30日
売上高	28,226	60,423	32,218	63,619	33,274	68,187	34,965	70,902	33,411
営業利益	3,059	7,919	4,814	8,211	3,913	8,431	3,948	7,725	2,301
経常利益	3,147	7,870	4,944	8,457	3,975	8,563	4,363	8,363	2,764
中間(当期)純利益	1,875	4,425	3,005	5,246	2,336	5,003	2,463	4,848	1,702
1株当たり中間(当期)純利益	23円52銭	54円56銭	37円66銭	64円92銭	29円13銭	62円36銭	30円66銭	60円33銭	21円24銭
潜在株式調整後 1株当たり中間(当期)純利益	—	54円56銭	37円64銭	64円80銭	29円11銭	62円31銭	30円65銭	60円32銭	21円24銭
配当性向	—	39.6%	—	39.7%	—	48.1%	—	56.4%	—
総資産	93,297	98,928	100,055	101,621	104,054	105,807	106,725	107,226	105,631
純資産	72,699	74,748	77,173	78,973	80,185	81,788	82,855	83,586	82,814

(注) 「1株当たり中間(当期)純利益」は自己株式控除後の期中平均発行済株式総数により算出しております。

社名 アマノ株式会社
 AMANO Corporation
 本社所在地 〒222-8558
 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
 TEL 045-401-1441 (代表)
 FAX 045-439-1120
 ホームページ <http://www.amano.co.jp/>
 創業 1931年(昭和6年)11月3日
 設立 1945年(昭和20年)11月22日
 資本金 182億3,958万円(平成20年9月30日現在)
 従業員数 2,243名(平成20年9月30日現在)
 営業品目 《企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス》
 ●情報システム事業
 ●時間管理機器事業
 ●パーキングシステム事業
 ●環境システム事業
 ●クリーンシステム事業
 ●エコロジー事業
 ●アウトソーシング事業
 ●時刻配信・認証サービス事業

役員(平成20年9月30日現在)

代表取締役会長 甲本 田
 代表取締役社長 春島 本
 代表取締役専務 水島 典
 取締役常務執行役員 鈴木 豊
 取締役常務執行役員 草山 彦
 取締役常務執行役員 小山 隆
 取締役常務執行役員 山口 稔
 常勤監査役 野上 敬
 常勤監査役(社外) 野山 三
 監査役(社外) 上菱 男
 常務執行役員 井村 泰
 常務執行役員 田畑 俊
 常務執行役員 中嶋 明
 常務執行役員 宇山 行
 常務執行役員 今野 泉
 常務執行役員 小田 幹
 常務執行役員 白野 雄
 常務執行役員 飯野 樹
 常務執行役員 岸田 弘
 常務執行役員 藤原 吾
 常務執行役員 上野 司
 常務執行役員 赤木 悟
 常務執行役員 本 剛
 常務執行役員 孝 毅

恭 彬
 宜 薫
 利 治 豊
 利 彦
 治 隆
 利 稔
 治 三
 和 敬 男
 和 泰 啓
 俊 明
 信 行
 生 泉
 正 幹
 和 直 樹
 文 弘
 健 吾
 顕 司
 義 悟
 孝 剛
 毅 亨

※監査役上野啓、菱山泰榮の両氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況

●株式情報

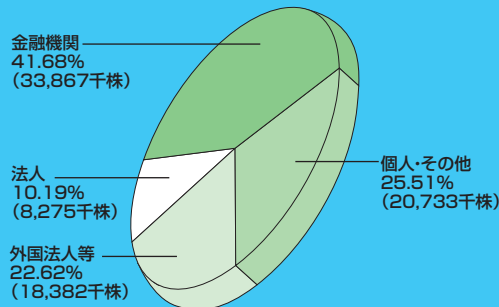
(平成20年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 185,476,000株
- 発行済株式の総数 81,257,829株
- 株主数 21,026名

●大株主(上位7名)

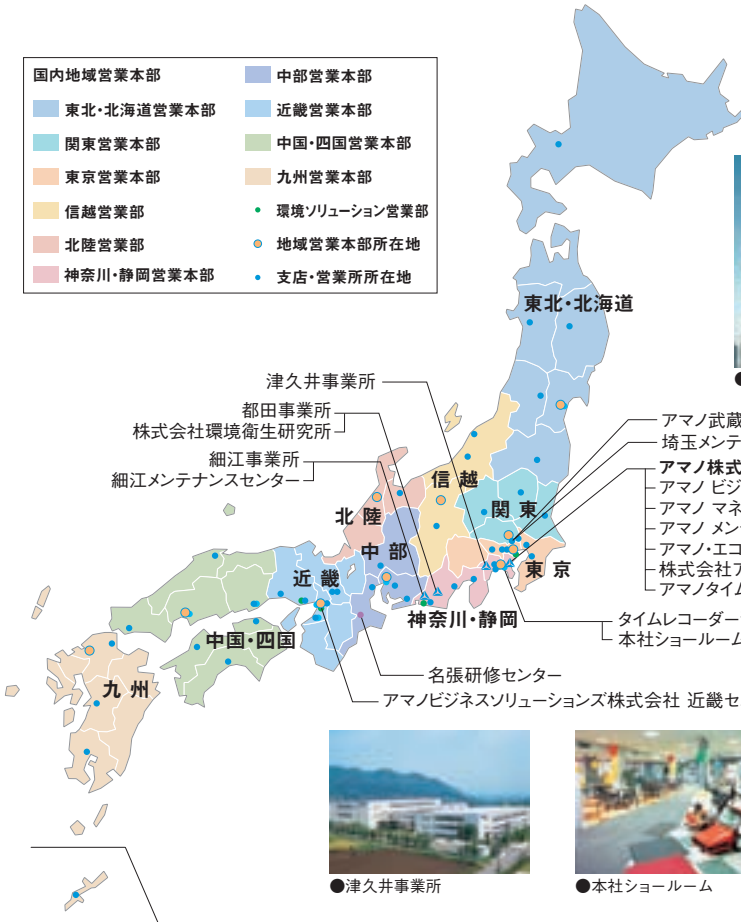
株主名	所有株式数	出資比率
	千株	%
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント (常任代理人香港上海銀行東京支店)	7,499	9.22
第一生命保険相互会社	6,700	8.24
財団法人天野工業技術研究所	6,071	7.47
株式会社みずほ銀行	3,900	4.79
日本生命保険相互会社	3,743	4.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	3,222	3.96
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,000	3.69

●所有者別株式分布状況



AMANOネットワーク

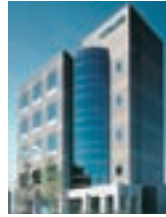
国内地域営業本部	中部営業本部
東北・北海道営業本部	近畿営業本部
関東営業本部	中国・四国営業本部
東京営業本部	九州営業本部
信越営業部	環境ソリューション営業部
北陸営業部	地域営業本部所在地
神奈川・静岡営業本部	支店・営業所所在地



●札幌支店



●仙台支店



●大宮支店



●アマノ武蔵電機株式会社



●埼玉メンテナンスセンター



●本社・横浜事業所
●アマノ・エコ・テクノロジー株式会社
●株式会社アマノエージェンシー



●津久井事業所



●本社ショールーム



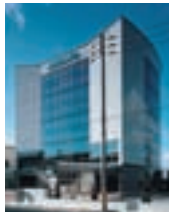
アマノギャラクシービル
●アマノビジネスソリューションズ株式会社
●神奈川支店



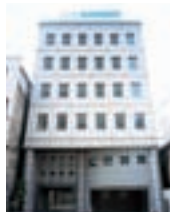
アマノ第2ギャラクシービル
●アマノマネジメントサービス株式会社
●アマノメンテナンスエンジニアリング株式会社
●アマノタイムビジネス株式会社



●広島支店



●岡山支店



●大阪支店
●アマノビジネスソリューションズ(株)近畿センター



●名古屋支店

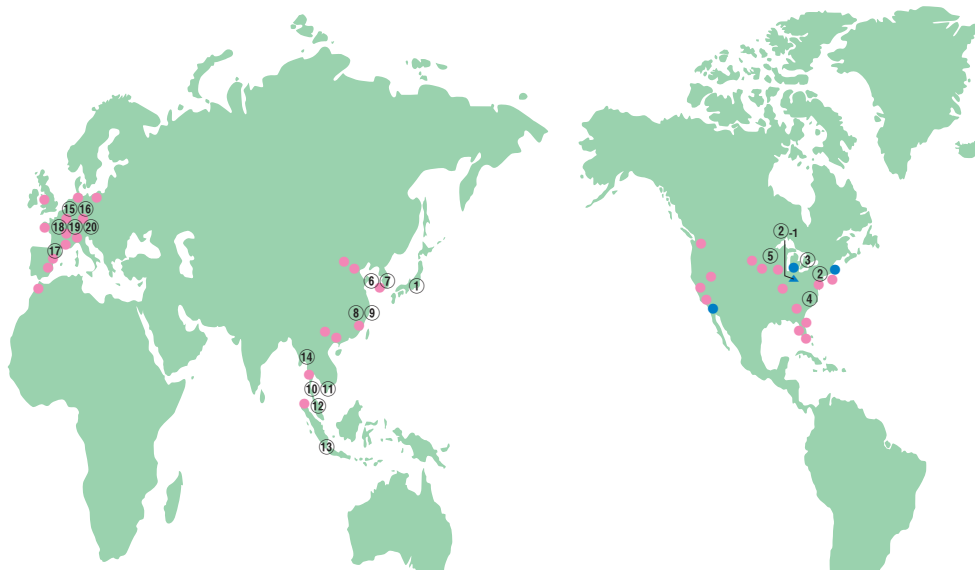


●細江事業所



●都田事業所
●株式会社環境衛生研究所

アマノグループ



- ① AMANO CORPORATION
- ② AMANO USA HOLDINGS, INC. (AUH)
- ③ AMANO CINCINNATI, INC. (ACI)
- ②-1 ACI OHIO FACTORY
- ② AMANO INTEGRATED SYSTEMS, INC.
*組織再編に伴い、社名変更 (旧AMANO USA, INC.)
- ④ AMANO CINCINNATI CANADA, INC.
- ④ AMANO PIONEER ECLIPSE CORPORATION (APEC)
- ⑤ AMANO McGann, INC (AMI)
*2007年6月買収完了により、グループ会社化
- ⑥ AMANO KOREA CORPORATION (AKC)

- ⑦ @PARK KOREA COMPANY LTD.
- ⑧ 安満能国際貿易(上海)有限公司 (AIT)
- ⑨ 安満能軟件工程(上海)有限公司 (ASE上海)
- ⑩ AMANO MALAYSIA SDN. BHD.
- ⑪ AMANO CLEANTECH MALAYSIA SDN. BHD (ACM)
- ⑫ AMANO TIME&AIR SINGAPORE PTE. LTD (ATAS)
- ⑬ PT. AMANO INDONESIA (PTAI)
- ⑭ AMANO THAI INTERNATIONAL CO, LTD (ATI)
*2008年1月設立
- ⑮ AMANO EUROPE HOLDINGS, N.V. (AEH)
*2007年7月持株会社として設立 (ベルギー)

- ⑮ AMANO EUROPE, N.V. (AE)
*持株会社設立により、社名変更 (旧AMANO ELECTRONICS EUROPE,N.V.)
- ⑮ AMANO SOFTWARE ENGINEERING R&D EUROPE, N.V. (ASE EUROPE)
- ⑰ AMANO TIME & PARKING SPAIN SA
- ⑱ HOROSMART, S.A.
- ⑲ HOROQUARTZ, S.A.
- ⑳ OMNIBADGES, S.A.
*⑱ ⑲ ⑳ : 2008年1月末買収完了により、グループ会社化 (フランス)
- ACI Branch Offices ▲ ACI Factory
- Amano Group Branch Office

高品質・高効率を実現する生産拠点

本社・横浜事業所



神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
TEL : 045(401)1441 FAX : 045(439)1120
●タイム情報ソフトウェア、駐車場機器、
電解水生成装置 他
●ISO9001:2000

津久井事業所



神奈川県相模原市津久井町長竹236番3
TEL : 042(784)7441 FAX : 042(780)7107
●情報システム機器、電子タイムレコーダ、
プリント基板、プラスチック成形部品 他
●ISO9001:2000 / ISO14001:2004

細江事業所



静岡県浜松市北区細江町気賀8123番地
TEL : 053(522)0951 FAX : 053(527)0002
●集塵機、集塵装置、掃除機、フロア清掃機、
脱臭装置 他
●ISO9001:2000 / ISO14001:2004

都田事業所



静岡県浜松市北区新都田1丁目6番2号
TEL : 053(484)1051 FAX : 053(484)1081
●精密金型、切削部品、金型自動交換機 他
●ISO14001:2004

株主メモ	
決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
期末配当金支払基準日	毎年3月31日
中間配当金支払基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三菱UFJ信託銀行 全国各支店（下記ご注意ご参照）
郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（フリーダイヤル）
公告掲載新聞	日本経済新聞

（ご注意）株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、株主名簿管理人の以下のフリーダイヤルならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

電話 0120-244-479（フリーダイヤル）
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

TIME & ECOLOGY
AMANO.

 **アマノ株式会社**

本社 / 〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地
TEL. (045) 401-1441 (代表) FAX. (045) 439-1120



この報告書は環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しています。